

医局のあれこれ

承ります



秘書広報課

秘書広報課は、8名の職員が「秘書広報課」、「図書室」、「医局食堂」の3カ所で仕事をしています。お客さまにお茶をいれているだけではありません（笑）。今回は秘書広報課の仕事をご紹介します。

秘書広報課

院長室の向かいにある部屋で、秘書課長を含め3人（隣の部屋に

+1人）がいます。統括院長、院長のスケジュール管理、医局に関する庶務・雑務、長野県農村医学会をはじめとした各種学会や、委員会などの事務局、対外メディア・取材などへの対応、各種行事の写真、映像撮影・記録、各広報誌の作成・発行など、仕事は多岐に亘ります。「農民とともに」の事務局もここです。本誌の毎月の制作・発行作業には大変苦労しています。職員の皆さんと、約700人のOBおよび関係者にも毎月手作業で送付しています。編集委員が愛をこめて作っている本誌です。ポイントとせずぜひ大切にしてください。

ときには「大奥」と呼ばれ、足を踏み入れにくい部屋ですが、お茶でも飲みに来てください。

図書室

ここでは医学図書室の管理・運営、プロジェクター、スクリーンなどの貸し出しを行なっています。

また、医師確保、春期・夏期の医学実習生の受け入れ、初期およ

び後期研修医に関する業務も図書室の2人が主に担当しています。

男性2人なので、秘書課にしてはちよつと華がないかもしれません。マジメで優しいイケメン？ いや、オトメン？ たちなので気軽に話しかけてみてください。

医局食堂

食堂といっても、ここで旬のサマ定食が食べられるわけではなく、私たちが食堂のおばちゃんをやっているわけでもありません。医局の先生方が休憩をしたり、食事を摂ったりする場所です。夕方はおにぎり屋さんをオープンしますが（笑）、普段は2人で医

局に関する事務仕事をしています。先生方のお願いことから衣食住に関する細々したことまで、いろいろと仕事はありますが、一番は先生方に気持ちよく仕事をしてもらえるよう心がけています。

医局食堂には医師全員分のメールボックスがあります。どこに入れたらよいか分からないときはお尋ねください。

おわりに...

秘書広報課は、医局に関するあれやこれやを、オールマイティーにこなす部署と言えるでしょうか。来客時には接待もしますし、医局歓送迎会、新年会のセッティングなどもしています。

しかし、秘書課の仕事も多くの方々の手助けなしでは成り立ちません。いつもご協力いただいている皆さまに、この場を借りてお礼申し上げます。そして、これからも秘書広報課をよろしくお願いいたします☆

（土屋知世）